

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	ワクチン対策事業			担当部局庁	健康局			作成責任者	
事業開始年度	昭和24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課			三宅 邦明	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障、その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健衛生上必要不可欠なワクチン・抗毒素の国家買上げを行い、備蓄し、その需給調整を行う。また緊急時等のワクチン供給体制を確保する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるため、抗毒素やワクチン等の買上げ、ワクチンの開発・製造・安定供給のために必要な検討及び需要予測調査、並びに新型インフルエンザの予防に資するワクチンの開発や備蓄に取り組む事業。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	543	538	625	546	546		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	48	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 48	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	543	538	577	594	546		
	執行額		535	527	56	-			
	執行率(%)		99%	98%	10%	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		99%	98%	9%	-			
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	ワクチン等購入費	455	455	-					
	医薬品買上費	48	48	-					
	医薬品審査等業務庁費	24	24	-					
	庁費	13	13	-					
	医薬品等保管料	4	4	-					
	その他	2	2	-					
	計	546	546	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	国有ワクチン等の購入計画に対する実際の購入数量。 ※国有ワクチン等...乾燥ガスえそウマ抗毒素、乾燥E型ボツヌリスウマ抗毒素、乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	成果実績	本数	本	167	272	0	-	-
		目標値	本数	本	167	337	249	-	249
		達成度		%	100	80.7	0	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	結核感染症課調べ								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	国有ワクチン等の各年度の備蓄方針に対する各年度の備蓄数量。 ※国有ワクチン等...乾燥ガスえそウマ抗毒素、乾燥E型ボツヌリスウマ抗毒素、乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	成果実績	本数	本	2,602	1,817	1,644	-	-
		目標値	本数	本	2,313	1,701	1,462	-	1,329
		達成度		%	112.5	106.8	112.4	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	結核感染症課調べ								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
		活動実績	当初見込み								
		国有ワクチン等における都道府県からの購入申請に対する売り払い数量等。 ※国有ワクチン等・・・乾燥ガスえそウマ抗毒素、乾燥E型ボツヌリスウマ抗毒素、乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン		本	18	75	43	-			
				本	93	92	47	59			
単位当たり コスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
		保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるため、抗毒素やワクチン等の買上げ、ワクチンの開発・製造・安定供給のために必要な検討及び需要予測調査、並びに新型インフルエンザの予防に資するワクチンの開発や備蓄に取り組む事業であるため単位当たりコストは算出できない。なお、記載している成果実績は、国が保管している国有ワクチンのうち、緊急治療のために払い出しを実施している一部のワクチンの供給実績であり、ワクチンの種類により価格が異なることから事業全体としてのコスト計算をすることは困難である。						単位当たり コスト	-	-	-
政策		I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること									
		施策		I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること							
政策評価		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度	
								実績値	-	-	-
測定指標				目標値	-	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					-	施策の進捗状況(実績)					
					-						
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるため、抗毒素やワクチン等の買上げ、ワクチンの開発・製造・安定供給のために必要な検討及び需要予測調査、並びに新型インフルエンザの予防に資するワクチンの開発や備蓄に取り組んでいる。											
改革項目		分野:	-								
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度		
					-			-	-	-	-
				成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度		
					-			-	-	-	-
				成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

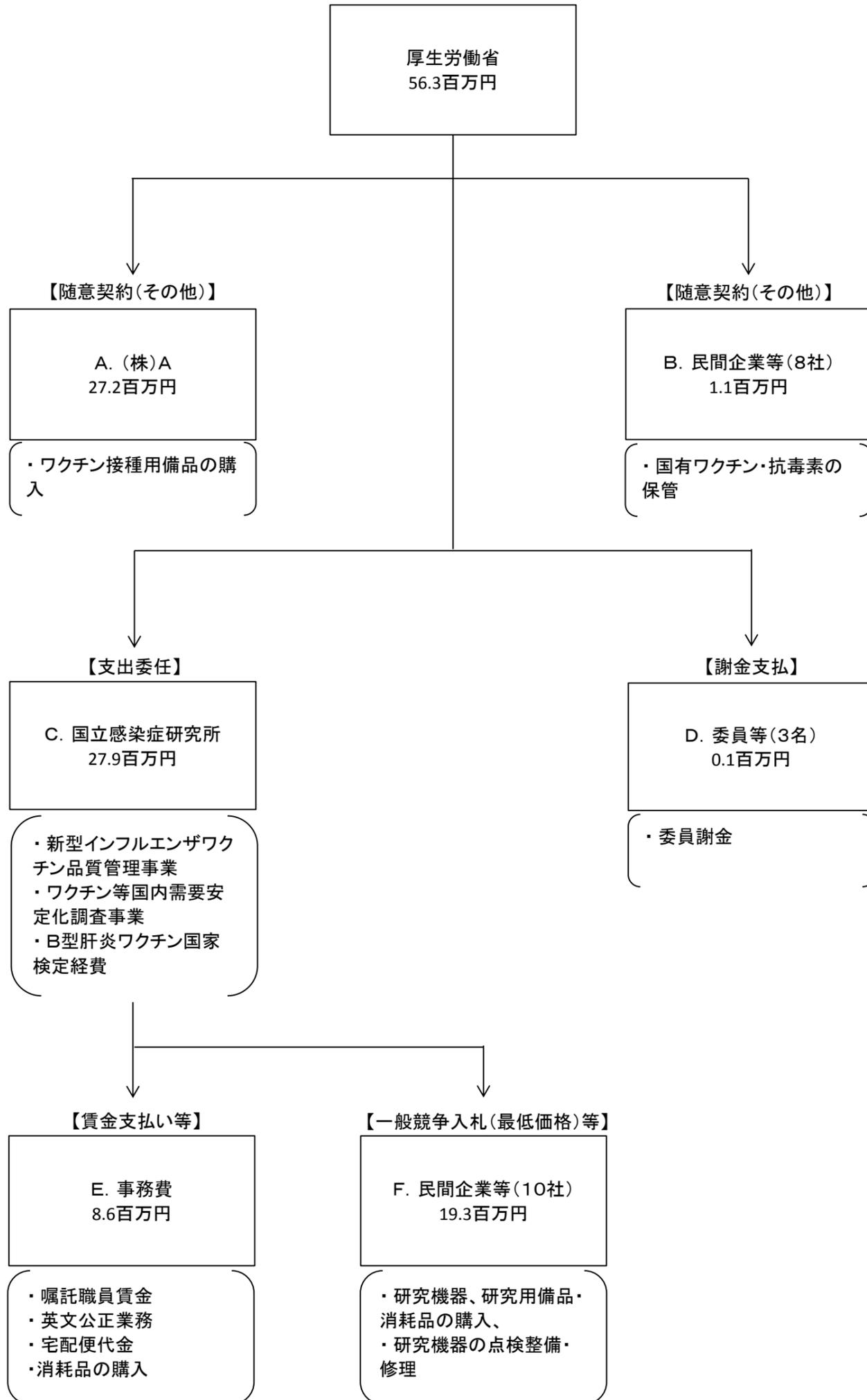
事業所管部局による点検・改善								
	項目	評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	感染症等は、発生の予測ができず、また、その抗毒素等については、製造に長期間を要する反面、有効期間が短いものが多いため、市場性に乏しい性質を有している。必要が生じた場合に、迅速・円滑に供給するために必要な事業であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	感染症等は、発生の予測ができず、また、その抗毒素等については、製造に長期間を要する反面、有効期間が短いものが多いため、市場性に乏しい性質を有している。そのため、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	保健衛生上必要不可欠なワクチン等の安定供給を確保するとともに、緊急時等の供給体制についても準備を進めるための事業であり、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td style="width: 50%;">無</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td>有</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		製造業者が限定されていること、また危機管理の観点から特定の企業に依頼する必要があること等の事情により随意契約としている。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		ワクチン・抗毒素等の買上げ・保管など、事業目的に則した適正な執行が行われている。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○		平成28年4月の熊本地震の影響で、製造メーカーの設備が被災し、その後の復旧に時間がかかったことにより、当初予定していたワクチンを購入することができなかったため。					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○		ワクチン・抗毒素等の買上げ・保管など適正な執行が行われている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	×	平成28年4月の熊本地震の影響で、製造メーカーの設備が被災し、その後の復旧に時間がかかったことにより、当初予定していたワクチンを購入することができなかった。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		供給申請に対する払出は100%対応している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		購入した国有ワクチンは、供給申請に応じて払出している。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 15%;">所管府省名</th> <th style="width: 25%;">事業番号</th> <th style="width: 60%;">事業名</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	平成28年度は、熊本地震の影響で製造メーカーの設備が被災し、その後の復旧に時間がかかったことにより、当初予定していた国有ワクチン・抗毒素を購入することができなかったが、都道府県からの供給申請に対しては、迅速かつ円滑に供給(100%)することができた。このため、危機管理上適正な備蓄量を確保できていると考えられる。						
	改善の方向性	緊急時に備え国が買上げを実施している国有ワクチン・抗毒素については、製造に長期間を要する反面、有効期間が短いものが多いことから、その必要が生じた場合に、迅速・円滑に供給するために一定量の備蓄を行っておく必要があるが、感染症等は発生の予測ができないため、毎年度その必要量の見込みを立てることが困難である。ただし、現状では、都道府県へ適切な供給を行うことができおり、今後も備蓄量と売り払い量のバランスを注視しつつ、危機管理上適切な備蓄量を検討してまいりたい。						
外部有識者の所見								
点検対象外								
行政事業レビュー推進チームの所見								
現状通り	保健衛生上、必要不可欠なワクチン・抗毒素の国家買上げに必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
現状通り	-							
備考								
-								

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	228	平成23年度	205	平成24年度	172	
平成25年度	112	平成26年度	122	平成27年度	130	
平成28年度	127					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



A. (株)A			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	ワクチン接種用備品の購入	27.2			
計		27.2	計		0
C. 国立感染症研究所			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
支出委任	新型インフルエンザワクチン品質管理事業等	27.9			
計		27.9	計		0
E. 嘱託職員			F. (株)チヨダサイエンス		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	嘱託職員賃金	6.3	消耗品費	研究用消耗品の購入	7.7
			雑役務費	研究機器の点検整備・修理	5.7
			備品費	研究機器、研究用備品の購入	2.4
計		6.3	計		15.8

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)A	-	ワクチン接種用備品の購入	27.2	随意契約 (その他)	-	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)B	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.3	随意契約 (その他)	-	100%	-
2	(株)D	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.2	随意契約 (その他)	-	100%	-
3	(株)E	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-
4	(一財)F	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-
5	(株)G	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-
6	(株)H	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-
7	(株)I	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-
8	(株)J	-	国有ワクチン・抗毒素の保管	0.1	随意契約 (その他)	-	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立感染症研究所	-	新型インフルエンザワクチン品質管理事業等(支出委任)	27.9	その他	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	参考人C	-	ワクチン評価に関する小委員会(謝金支払)	0.1	その他	-	-	-
2	委員K	-	一般参考人の選考に関する検討会(謝金支払)	0	その他	-	-	-
3	委員L	-	一般参考人の選考に関する検討会(謝金支払)	0	その他	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	嘱託職員	-	賃金(賃金支払い)	6.3	その他	-	-	-
2	(株)ワールド・クウリアー	5010601042030	国際宅配便	2	随意契約 (少額)	-	100%	-
3	(株)メディア総合研究所	4011001041557	英文校正業務	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	ヤマト運輸(株)西東京主管支店	1010001092605	宅急便	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	(株)バイオシス	6010001006304	消耗品の購入	0	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	名港海運(株)	6180001007509	国内運送	0	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	フェデラルエクスプレスコーポレーション	8700150003055	国際宅配便	0	随意契約 (少額)	-	100%	-

